

不定詞 標準

空欄に適する語句を選びなさい。

- The memo says that they [] meet their aunt at the airport tomorrow.

(東京経済大)

- ① are to [校正用: true]
- ② are going [校正用: false]
- ③ are being [校正用: false]
- ④ will be [校正用: false]

解答：①

【設問の解説】

「メモには、彼らは明日おばに空港で会う予定だと書いてある。」

be to doの形で「～する予定だ／～することになっている」という **予定・運命** を表す用法がある。be to doには、本問の予定・運命を表す用法を含めて4つの用法がある。

「～するつもりなら／～するためには」（**意図・目的**）

「～できる」（**可能**）

「～すべきだ／～しなさい」（**義務・命令**）

S is to doという形の文で、to doを「～すること」としたのでは文意が通らないときは、このどれかの用法であると思ってよい。

空欄に適する語句を選びなさい。

- When Fred was a high school student, he seems [] the guitar.

(獨協大)

- ① to enjoy playing [校正用: false]
- ② to enjoy to play [校正用: false]
- ③ to have enjoyed playing [校正用: true]
- ④ to have enjoyed to play [校正用: false]

解答：③

【設問の解説】

「フレッドは高校生だった頃、ギターを弾いて楽しんでいただ。」

文の前半にWhen Fred was ...「フレッドが...だった頃」とあるので、話題が過去の内容であることに注意しよう。後半のhe seems ... は「彼は今...のようだ」という意味。本問のように、**述語動詞 seems の時点よりも前の過去のこと**を述べるときは、**完了不定詞 to have done**を使って表すことができる。seems to enjoyは「（今）楽しんでいるようだ」、seems to have enjoyedで「（かつて）楽しんでいたようだ」という意味になる。なお、enjoyは目的語に動名詞をとる動詞。

空欄に適する語句を選びなさい。

- You are rude [] such a thing to your father.

(名古屋学院大)

- ① says [校正用: false]
- ② said [校正用: false]
- ③ say [校正用: false]
- ④ to say [校正用: true]

解答：④

【設問の解説】

「お父さんにそんなことを言うなんて失礼よ。」
不定詞の副詞的用法には、形容詞の後ろにくっついて、〈形容詞 + to do〉の形で「～するなんて...だ」のように**判断の根拠**を表す使い方があある。
本問では、be rude to say ... で「...を言うなんて失礼だ」という意味になる。

空欄に適する語句を選びなさい。

- たかしは一生懸命練習したが、結局は試合に負けただけだった。

Takashi practiced hard [] lose the game.

(名古屋学院大)

- ① only to [校正用: true]

- ② just to [校正用: false]
- ③ as to so [校正用: false]
- ④ to [校正用: false]

解答：①

【設問の解説】

不定詞の副詞的用法には、only to do「（...したが、）結局～だった」という意味の**逆説的な結果**を表す用法がある。ただし、文脈によっては、目的を表す副詞的用法を強調するためにonlyをつけて「～するためだけに」という意味で使うこともあるので注意しよう。本問は、次のように言いかえることができる。

Takashi practiced hard, but he lost the game.

空欄に適する語句を選びなさい。

- Marconi is believed by many to [] the radio before anybody else.

（南山大）

- ① have been invented [校正用: false]
- ② invented [校正用: false]
- ③ be invented [校正用: false]
- ④ have invented [校正用: true]

解答：④

【設問の解説】

「マルコーニは多くの人から、ほかのだれよりも先にラジオを発明したとされている。」

完了不定詞 to have doneを使うと、**述語動詞の時点よりも前の過去のこと**を表すことができる。本問では、is believed「思われている」という受動態のあとに完了不定詞が使われている。is believed to inventは「発明すると（今）思われている」、is believed to have inventedで「（かつて）発明したと（今）思われている」という意味になる。

by many は「多くの人々によって」という意味。manyには「（不特定の）多くの人[もの]」という意味がある。

文法・語法上の誤りのある箇所を1つ選びなさい。

- ① When you are confronted ② with a problem or an issue , ③ all you have to do ④ is using your common sense .

(名城大)

- ① [校正用: false]
- ② [校正用: false]
- ③ [校正用: false]
- ④ [校正用: true]

解答 : ④ → is (to) use your common sense

【設問の解説】

「問題に直面したときは、ただ常識で考えればいい。」

All S have [has] to do is (to) do 「Sは～しさえばよい／～するだけでよい」という用法を問う出題。本問の後半部分は、次のように書きかえることができる。

..., you have only to use your common sense. (常識で考えるだけでよい。) → have toをonlyで強調した形。

..., you only have to use your common sense. → 上のonlyが前に出た形。

..., you have nothing to do but use common sense. (常識で考える以外にない。)

confront with ～ 「～に直面する」

空欄に適する語句を選びなさい。

- Our boss would like the task [] by the end of the day.

(立命館大)

- ① be finished [校正用: false]
- ② finish [校正用: false]
- ③ to be finished [校正用: true]
- ④ to finish [校正用: false]

解答 : ③

【設問の解説】

「私たちの上司はその作業を今日中に終わらせてがっている。」

want [would like] A to doは「Aに～してほしい

（と思う）」という意味。本問は、Aにあたる名詞the taskとfinish「～を仕上げる」のあいだに「その作業は仕上げられて（ほしい）」という**受動**の関係があることに注意。

空欄に適する語句を選びなさい。

- My cousin spent his childhood in a small village surrounded by deep forests. Years later, he grew up [] a tree doctor.

(秋田県立大)

- ① to be [校正用: true]
- ② being [校正用: false]
- ③ for [校正用: false]
- ④ been [校正用: false]

解答：①

【設問の解説】

「私のいとこは深い森にかこまれたちっぽけな村で幼少期を過ごした。数年後、彼は成長して樹木医になった。」

結果を表す不定詞の副詞的用法。grow up to be ～で「成長して～になる」という意味。同じような用法で頻出のものに次のようなものがあるので覚えておこう。

live to do「生きて～する／～するまで生きる」

wake up [awake] to find [see] ～「目がさめると～に気づく[だとわかる]」

空欄に適する語句を選びなさい。

- The prince lived [] one of the most remarkable kings in the world.

(-)

- ① for being [校正用: false]
- ② to be [校正用: true]
- ③ till he would be [校正用: false]
- ④ being [校正用: false]

解答：②

【設問の解説】

「王子はやがて世界でもっとも優れた王のひとりとなった。」

結果を表す不定詞の副詞的用法。live to be ～で「生きて～になる／～になるまで生きる」という意味。同じような用法で頻出のものに次のようなものがあるので覚えておこう。

grow up to be ～「成長して～になる」

wake up [awake] to find [see] ～「目がさめると～に気づく[だとわかる]」

空欄に適する語句を選びなさい。

- If you [] well in this class, you must read the assigned book thoroughly.

(－)

- ① were doing [校正用: false]
- ② are done [校正用: false]
- ③ would be done [校正用: false]
- ④ are to do [校正用: true]

解答：④

【設問の解説】

「この授業でいい成績をとりたければ、指定された図書を丹念に読まなければならない。」

be to doには「～するつもりなら／～するために」という **意図・目的**を表す用法がある。この意図・目的を表す用法は、原則的にif節で使うことに注意しておこう。

なお、be to doには、本問の意図・目的を表す用法を含めて4つの用法がある。

「～する予定だ／～することになっている」（**予定・運命**）

「～できる」（**可能**）

「～すべきだ／～しなさい」（**義務・命令**）

空欄に適する語句を選びなさい。

- Meg came softly, unobserved, and yet, strange [], everyone recognized her.

(－)

- ① say [校正用: false]
- ② saying [校正用: false]
- ③ to say [校正用: true]
- ④ said [校正用: false]

解答：③

【設問の解説】

「メグはこっそりと誰にも見られないようにやってきたが、不思議なことに、全員がひと目で彼女に気づいた。」

strange to say 「不思議なことに／奇妙な話だが」は **独立不定詞** とよばれる慣用表現で、言い方がほぼ決まっているので正確に覚えるようにしよう。

空欄に適する語句を選びなさい。

- To [] the truth, I'm not sure what they're going to do today.

(－)

- ① speak [校正用: false]
- ② say [校正用: false]
- ③ mention [校正用: false]
- ④ tell [校正用: true]

解答：④

【設問の解説】

「じつをいうと、彼らが今日何をするつもりなのかよくわからない。」

to tell (you) the truth 「じつは／じつをいうと」は **独立不定詞** とよばれる慣用表現で、言い方がほぼ決まっているので正確に覚えるようにしよう。

空欄に適する語句を選びなさい。

- A woman saw the two men [] the club between 11:00 p.m. and midnight, according to the police.

(－)

- ① enter [校正用: true]
- ② entered [校正用: false]
- ③ to enter [校正用: false]

- ④ be entering [校正用: false]

解答：①

【設問の解説】

「警察によると、2人の男性が夜11時から12時のあいだにそのクラブに入店するところを、ある女性が見かけたらしい。」

see A doは「Aが～するのを見る」という意味。知覚動詞seeは補語として **原形不定詞** や **分詞** をとる。本問は、S saw the two men enter ～ で「Sは、2人の男が～に入るのを見た」という意味になる。

なお、原形不定詞がつづくsee A doの場合は「動作の一部始終をすべて見る」、現在分詞がつづくsee A doingの場合は「動作の最中を一瞬ちらりと見る」というちがいがあっても確認しておこう。

空欄に適する語句を選びなさい。

- We didn't visit there during our trip this time, but we hope [] next time.

(-)

- ① that [校正用: false]
- ② it [校正用: false]
- ③ do [校正用: false]
- ④ to [校正用: true]

解答：④

【設問の解説】

「今回の旅行ではそこを訪れなかったが、次回はぜひ訪れたい。」

前に出た「動詞（＋目的語など）」の反復を避けるために、不定詞to doのtoだけを使って不定詞の意味を表す用法がある。これを **代不定詞** とよぶ。本問は、前述のvisit thereが省略されている。
..., but we hope to (visit there) next time.

ここに参考書リンクが入ります